

2 学期始業式の後、生徒は短い時間で「始業式を終えて」を記入しました。

この取組は、聞いた話を要約し自分の考えを組み入れた文章を短い時間でまとめることを通じ、思考力・表現力等の向上を目指すものです。

内容は、「1 今日の校長先生の話の要点は、どのようなことでしたか。箇条書きで書きましょう。」「2 上記の内容をもとに、自分が感じたり考えたりしたことなどを、文章で書きましょう。」の2つです。各学年から何名かの内容を紹介します。

3 年 N. S.

1・自然災害・戦争（9月1日）防災の日

- ・命のつながり
- ・学校の取組、自分の強みを生かす

2・私はまだ、大きい地震を直接感じたことがありません。東日本大震災も記憶がなく、何も覚えていません。だけど、地震や台風などの自然災害は、いつ、どこで起こるかが分かりません。だからこそ、毎日何気なく過ごしている日々で少しでも多く災害について触れていくことが大切だと思います。これから2学期が始まって、私達はほとんどこの2学期で先の未来が決まっていくことになります。私は夢もあるし、行きたい高校もあります。だからそこに向けて少しでも今より成長していけるように頑張っていきたいです。

3 年 R. M.

1・戦争について＋自然災害などを訪れた。どちらも多くの人を巻き込んでいる。

- ・大体同じような震源地（同じような地震が繰り返される）
- ・学校行事

2・私は、校長先生がこの夏にしたことがとても素晴らしく、行動に移せるのがすごいと思いました。戦争や自然災害は、私達中学生が「やめて」と言って終わるような安易なものではありません。だけれど、実際にその戦争が行われた場所に行ったり、心のどこかで想うということで少し変わると思います。なので、私はいつか校長先生のように現地に行って状況を知りたいです。また、地震は何度も繰り返されてしまい、いつ来るかも分からないので、難しいことだと思います。だけれど最低限、自分ができること、気を付けられることをやっていきたいです。この夏、私は300時間以上勉強しました。そこで、夏休み明けに行ったテストで社会がすごく伸びていることが分かりました。とてもうれしかったです。その反面、理科の苦手意識がとれず、2学期になると内容がもっと難しくなるため、少しずつでも得意に、理解を深めていきたいです。また、数学も少しずつ下がってきているので、取り戻していきたいです。以上のことから、私はこの夏、理系・文系どちらも全体的に上げていき、「分からない」を少しでもなくしていくことに力を入れていきたいです。

3 年 A. O.

1・自然災害 生活が困難になるのは考えたくない 戦争も同じ

- ・9/1 関東大震災→防災の日 1/17 阪神・淡路大震災など
- ・同じ場所でエネルギーたまる 周期的に放出 南関東や南海トラフ
- ・私たちが聞いている→祖先が経験して打ち勝ってきたから
- ・命のリレーをつなぐ必要がある
- ・良さや強みを何かのために生かす
- ・進路が大詰め、ルールや制服の改定も進む
- ・信頼を得られる→ハッピーなこと

2・私は、夏休みに学校見学などに行き、約半年後の自分のために受験に向けた取組みをたくさん進めてきた。

しかし、この日本という国に住んでいる以上は、自然災害と共存していく必要がある。そのうち、地震などは特に予想が困難で、今後起こるとされている大地震が明日起こる可能性もある。このように言われていることも、戦争と同じように先祖が経験し、生きのびてきたから教訓として伝えられたことである。今の努力を無駄にしないためにも、自分の安全を第一に考え、こうした災害に備えていきたい。

3年 R. S.

- 1・戦争、自然災害について（地震）
 - ・何に力を入れるのか（貢献）
- 2・地震は、いつ起こるかわからないというところが一番怖いところだと思います。明日、今までの生活が全て壊れてしまうかもしれないということを校長先生の話で改めて実感し、本当に怖いなと思いました。いつ地震が起きても対処できるように、避難経路を確認したり、場所ごとの回避方法を覚えたりして、対策できるようにしていこうと改めて思いました。また、自分が何に力を入れるべきなのかを考えるということもしていきたいです。自分に今必要なことは何か考え、行動していけるようにしたいと思いました。

3年 K. K.

- 1・戦争や自然災害は人の人生を大きく変えてしまうこと
 - ・今ある命は祖先からつながれてきたバトンであること
 - ・2学期は行動すべき期間であること
- 2・夏休み中に歴史の勉強をしたため、戦争や災害で人生が大きく変わってしまうこと、最悪の場合、死んでしまうことを知った上で、今日の「命は祖先からのバトンである」という話に納得しました。また、その後の2学期についての話も聞いて、勉強にだけ専念しようと思っていたけれど、委員会活動を頑張ったり、健康面に気を付けたりと、できることを見つけて行動する学期にしたいなと感じました。

3年 M. I.

- 1・戦争や自然災害は突然人々の平穏な生活を奪う
 - ・様々な困難に打ち勝って、命のリレーがつながれてきた…今、私たちがいる
 - ・自分の強み、良さを見つけ、人のためになることをする→貢献
- 2・戦争や自然災害で、今まで当たり前が続いていた日常が急になくなってしまった人々のことを考えると、胸が痛くなったし恐怖も感じました。しかし、過去のことを知り理解することは、命を守ることにもつながると思います。これからは、避難訓練や災害の授業などに真剣に取り組み、自分事として考えていきたいと思いました。

3年 K. S.

- 1・戦争や自然災害について
 - ・地震について
 - ・二学期に力を入れること
- 2・校長先生が話していた、日本で起こった自然災害。いつ起こるかは専門家にも分からないことはとても怖いことで、今日や明日起こってもおかしくないと危機感を持って生活することが大切だと改めて思いました。自分が居る可能性のある所からの避難経路を確認して、自分の身を守れるようにしたいです。二学期は私たち受験生にとっては大切な時期。学校も始まっていく中で、家庭学習の両立も難しくなってくる頃です。時間がない中、少しでも自分の学力があげられるよう、自分の好きなことをする時間や休息も取りつつ、自分に負けないようにしたいです。

3年 Y. M.

- 1・戦争、自然災害どちらも多くの人に被害をもたらす
 - ・今でも自分たちが生きていることは幸運
 - ・努力をする人には成長のチャンスが訪れる
- 2・私は、生きているときに戦争を経験したことがなかったので、学校の授業などで学び、自分の中で実際の戦争の想像を膨らませることしかできませんでした。でも私が中学に上がり、ロシアによるウクライナ侵攻の情報を耳にし、戦争の重みを実感する場面が多々ありました。人は皆、「戦争をなくしたい」という思いは同じだと思うので、「人に優しくする」という小さな努力をして幸運を手に入れたいです。

3年 A. G.

- 1・防災の日や自然災害について
 - ・自分の良さを活かした貢献
 - ・夏休みに考えたことを行動へ
- 2・自然災害などが起こったらどうするべきか、被害を最小限にするためにはどのような対策をとるべきなのか、ということを考えておきたいと思った。貢献については、JRC 委員会に所属していることもあり、他の人が気付かないことに目を向けて、その場しのぎのものだけでなく、根本を解決するような策まで考えられるようになりたいと思いました。

3年 A. N.

- 1・「戦争」は、ある日突然平穏な日々を奪う
 - ・自然災害は多くの犠牲を出し、それを避けることは困難 9月1日 防災の日
- 2・もし明日、戦争や災害に巻き込まれて日常が奪われてしまうかもしれないということ、つまり、この日常が当たり前ではないということ、改めて感じた。だからこそ、自分の命やまわりの人の命をも守れる知識と行動力を持ち、世界中ではあたりまえに家族と暮らせない人たちがいるということを知って、今自分のやるべきこと、できることを全力で行っていききたいと思う。

3年 R. T.

- 1・戦争や災害も同じことである
 - ・災害に強い心構えを示す「防災の日」
 - ・災害などから命を守るため、被害を最小限にするための知恵とスキルを身につける
- 2・日本は地震の国でもあるので、命を守るための必要不可欠な知恵とスキルを身につけたり、地震のことを自ら知ろうとすることが大切だと思いました。そして、今日起こるかもしれない強い心構えをもちたいです。今後の生活では、自分が大人になったときに社会に貢献できるように、今は社会貢献の第一歩である受験という大きな壁を乗り越えたいです。そして、自分の希望する進路、やりたいことを実現し、いつかは多くの人々や社会に貢献できる誇れるような自分になりたいと思いました。

3年 S. K.

- 1・夏休み、戦争、災害に関する調べ物をした
 - ・関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大震災 大きな地震がいつ起こるか分からない→命のリレーを引き継ぐ
 - ・防災について学び、蓄えることが大切

- ・二学期は行動する時期
 - ・自分の行ったことに貢献・達成感を得られる
- 2・私は、おばあちゃんが宮城県の石巻市に住んでいて、約12年前には東日本大震災を経験していました。小学生の頃、夏休みにおばあちゃんの家に行く途中、がれきが積もった山なども見かけました。大規模な災害に遭った地域に行くのは初めてだったので、すごく衝撃を受けたのを覚えています。校長先生がおっしゃっていたように、日本では数々の地震が起こっており、その度にたくさんの方達が被害に遭っています。時々地震が起こっていて、その度に私は日本だからしょうがない、と感じていたけれど、そう思うのではなく、どうすれば被害を最小限にできるのか、地震発生時にはどう動けば良いのかなど、このようなことを日頃から考えていきたいと思いました。

3年 Y.E.

- 1・戦争や自然災害は人々を巻き込む。困難をもたらす。
- ・自然災害はいつ起こるか分からない。(明日や100年後かもしれない)
 - ・困難に打ち勝って、命のリレーをつないできた。(私たちは幸運)
- 2・校長先生の話聞いて、戦争や自然災害が人間にもたらす影響について考えることや、普段から頭の片隅で自然災害について考えることが大切だと感じました。また、過去に起きた困難を知ること、先祖の方々が命のリレーを代々つないできたことが奇跡であり、今を生きることが幸運であることを理解できていると思います。今後は、自分が「今」を生きることが幸運だということを忘れずに、毎日を大切に生活していきたいです。

2年 Y.M.

- 1・自然災害と戦争について調べた。9月1日防災の日などの自然災害、地震について 命のリレー→幸運
- ・学校行事 何に力を入れるか 2学期行動を起こす学期
- 2・私たちの生活の中で、自然災害とは絶対に付き合っていくものなので、私も自然災害や戦争について調べて、日本の現状について知りたいと思いました。今まで特に何もなく過ごせてこられたのは、命のリレー、幸運だったからで、命は大事なものだと思えることができました。2学期は学期で一番長いので、学業に積極的に力を入れたいと思いました。2学期の終業式を笑顔で終われるようにしたいです。

2年 A.I.

- 1・自然災害 戦争は人生を変える
- ・防災の大切さ
 - ・自分の良さを自分以外に使う
- 2・最近ウクライナとロシアによる戦争、温暖化による自然災害が起こっていて、その状況などをテレビで見ていると、家族、友人と会えなくなっていたりと、今まで普通に過ごしていた日常が無くなっているのを目にします。そのようなことが起こらないのが一番ですが、もし起こったときに、自分の人生が変わるのを最低限にするために、避難訓練などの防災をしっかりとやっていきたいと思いました。あと、自分の良さは自分にだけ使うと自分しか幸せにはなれませんが、他の人に使うと相手も自分も幸せになってどんどん広がっていくと思うので、やっていきたいと思いました。

2年 R.K.

- 1・自然災害について学び、蓄えるのが大切だということ
- ・自分の強さ、よさ、得意を他の人に役立てるのが貢献につながる

- ・この2学期は行動する学期であること
- 2・私はこの2学期で、夏休みで見つめ直した自分自身のよさや強みを、普段の生活や部活動で活かすよう行動したいと考えました。一つのことにより一生懸命になれる長所を、授業などでは課題に向かって集中して取り組んだり、部活動などの活動に打ち込んで自身の技術を磨いたりすることに活かしたいです。また、自分のよさや強みで他の人の役に立ち、貢献できるよう、若いうちから自分をより成長させていきたいと考えました。私はこの2学期、自立・貢献がよりできる人となるために、自分で考え、行動することをし、1学期までの自分よりも成長できるよう努力していきたいです。そして、夏休みが無駄にならないよう、有意義なものにしたいです。

2年 M. I.

- 1・日本の自然災害
 - ・学校行事
 - ・自立・貢献 目標に向け自分の目指すべき姿
- 2・私が13年間生きてきた中、避難しないといけないほどの災害には出会ってきませんでした。しかし、いつ大きな災害が私たちを襲ってくるか分からない中、第一に私たちができることは、避難場所を確保したり、食料や飲料を確保することなど、今からの対策が大事だと思いました。2学期には2回のテスト、合唱祭など様々な試練が訪れます。1年生のときに一度行った行事なので、1年生のときの悔しかった思いなどをのせ、全力で頑張っていきたいです。来年の受験に向け、私は様々な人に期待をされ、今も多くのプレッシャーでたくさんの中、今からの努力が必要で、今から復習、予習をしっかりと行いたいと思いました。

2年 K. I.

- 1・日本で暮らすには、自然災害は避けて通れない
 - ・何か成功すると信頼をもらえたりする
 - ・努力が報われるか分からないけれど、努力した人にチャンスが来る
- 2・日本で暮らしていくには自然災害は避けることができないので、常に日頃から災害に備えることが大切だと思いました。努力をして報われるかどうか分からないけれど、努力をすればするほどチャンスは来ると思うし、それで報われて成功したらいろいろな人から信頼されたりすると思うので、失敗を恐れずに努力していこうと思いました。

2年 M. K.

- 1・災害に対する意識について
 - ・2学期どのように過ごしていくか
 - ・努力することについて
- 2・私は、2学期どのように過ごしていくのかについて考えたことがありました。校長先生の話から聞いた「努力は必ず実るとは限らないが、自分が成長できるチャンスになる」。この話を聞いて、今までの私はあらゆる出来事に対して「どうせできないから…」と諦めてしまうことが多くありました。ですがこれからは、何事にも全力で取り組んでいって、新しい経験や可能性を大事にしていきたいと考えました。

2年 M. T.

- 1・災害や戦争を乗り越えてきた先祖がつないできた命のリレーをつないでほしい
 - ・学校で学んでいる防災、減災をできるように取り組んでいく
 - ・2学期 色々な行事がある中で、自分の力を入れている事の手ごたえや評価が得られるように行動していく

- 2・夏休み中のテレビやニュースで、自然災害や戦争についての報道や特集の番組を見る機会があり、私も災害や戦争が身近なものだということを実感できました。校長先生のお話を聞いて、これからの学校での防災訓練や、生活に知識を生かせるようにしたいです。2学期は、自分の目標に向けて日々努力していきたいと思いました。長い2学期を有意義に過ごせるように頑張りたいです。

2年 Y. I.

1・自然災害（地震）

- ・2学期何に力を入れるのか
 - ・自立・貢献について
- 2・今回の校長先生のお話を聞いて、今まではテレビで地震について放送しているときぐらいしか、地震などの自然災害について考える機会はありませんでした。しかし、今日のお話を聞き、考えるきっかけについて、改めて自分のできる防災について考えようと思った。また、2学期には自分にとって大きなイベントである新人戦があるので、そこに力を入れ2学期は頑張りたいです。そして今学期は、より「自立・貢献」を意識した行動をしたいです。

2年 I. Y.

1・自然災害、戦争

- ・命のリレー
 - ・2学期の行事
- 2・私は、夏休みに台風などの自然災害に遭った人々のニュースを多く見ました。自然災害も戦争も、人の命を簡単に奪ってしまう怖いものでもあるけれど、私たちのおじいちゃん、おばあちゃん、さらに上の人達が災害や戦争の困難を乗り越えてきたからこそ命のリレーができ、今の私たちがいると知り、改めて自分の命を大切にしていきたいと感じました。2学期の行事も、それぞれの強み、よさを生かし、全力で取り組みたいです。

1年 M. W.

1・9月1日 防災の日

- ・命のリレー
 - ・2学期は行動すべき
- 2・9月1日は防災の日で、今から100年前の1923年に大きな震災があり、約10万人の方が亡くなってしまったことを初めて知りました。尊い命が亡くなってしまふことは、もう二度と起きてはだめなことだと思いました。なので、少しでも被害を減らすために訓練は大切なので、真剣に取り組んで自分のためにも誰かのためにもなるような行動をしたいです。

1年 R. O.

1・自然災害によって多くの方が被害にあった

- ・命はつながっている『命のリレー』
 - ・自分の強み、良さを生かす→貢献
- 2・今は元気に平和な日々を送っているけれど、昔は戦争や3.11などの大地震があった、ということを忘れず、その反省を生かしていきたいと思った。また、今は自殺をしてしまう人も多いけれど、何年も前から引き継いだ大切な「命」だから、その素晴らしさを感じて命を大切に生きていきたい。自分の強みは人のために役立てて、弱みは周りに支えてもらいながら生きていこうと思った。

1年 N.H.

1・災害、防災について

- ・行事について
- ・たくさんの事の取り組み方について

2・2学期になり中学校の生活に慣れてきた中、自分たちが取り組む事、取り組まなければいけない事などが増えてきました。勉強、学校のルール、生活面など、たくさんの事に取り組めます。その中で、自分はどのような事を、どのように取り組むか、小学生の時の考え方でなく、その一歩上のことについて考えなければなりません。勉強では、自分の目標に向けてコツコツ努力してゆき、生活面では学校のルールを守りよりよい生活をするなど、1つ1つのことをよく考え、気付き、実行しなければなりません。そのような事をたくさん自ら取り組んでゆきたいと思います。

1年 Y.I.

1・自然災害、戦争

- ・学校行事
- ・命のリレー

2・戦争は人が始めたことだから止められるけど、自然災害は自然に起こってしまうことだから、生きている中で助かる知恵を身につけていくことが大切なことが分かった。学校行事も、みんなと協力して成功させることも大切だが、運を引き寄せる毎日の行動が大切なことも分かった。自分まで命のリレーが続いていることが分かった。そのことを忘れずに生きていこうと思った。

1年 S.H.

1・戦争、自然災害

- ・運
- ・学校行事

2・校長先生の話聞いて私は、自然災害はいつ起こるか分からないから、しっかりと対策をして死なないように気を付けようと思いました。運はいいことをするとたまっていくと思うので、これからは積極的にいいことをしようと思います。スキー教室もあるので、しっかりと先生の話聞けるように日頃から意識したいです。

1年 M.S.

1・自然災害

2・私は、自然災害の話聞いて、すごく身近に自然災害があると改めて感じました。埼玉は海なし県だけど、地震や大雨での被害はあるし、家の近くには川もあって、よくよく考えたらすごく近いところに自然災害はあるなと感じました。2学期では、校長先生も言っていた行動をしっかりと、自分から動いてクラスに深く関わっていきたいと思った。

1年 T.T.

1・自然災害、戦争→多くの人が命を落とす

- ・合唱祭、行事
- ・2学期は行動すべき学期

2・自然災害は自然の力だから予知できないで多くの人の命が亡くなってしまうけど、戦争はお互いの国が戦い

合って多くの命が亡くなってしまうのは残念だと思った。なので、戦争はなくなってほしい。合唱祭やその他の行事は、クラスのみennaと全力で取り組みたい。

1年 K. I.

1・自然災害について（戦争について）

・2学期の行事について

2・東日本大震災があったときは、私は生まれて間もなかったので記憶にはないけれど、親や先生から話を聞いたただけけれど大変さがよくわかりました。自然災害は自分たちの力で防ぐことはできないけれど、被害を小さくすることはできると思うので、私も自分の身は自分で守ったり、家具を固定したりして被害を小さくする力になればいいなと思います。

1年 H. S.

1・戦争、地震について

・2学期の過ごし方

・自立・貢献

2・過去にはたくさん大変な戦争が起こっていると改めてわかりました。その中で生き残ったお母さんや先祖の人はすごいと思いました。地震はいつ起こるかも分からないので、今のうちに対策などを見直していきたいです。自分のためだけではあまり行動できないので、学校のためや友達のため、地域の人のためにも行動できるようにになりたいです。そして、その行動が貢献につながるよう頑張ります。2学期は勉強も部活も特に頑張らなければいけないので、もっと努力を積み重ねて良い結果を残せるようにしたいです。ジャパンカップでは努力がまだまだできた点もあるので、（勉強面でも）2学期は悔いの無いように過ごします。さらに行事にも積極的に取り組みたいです。

-
- ・夏休みを終え2学期は、行事をはじめ様々な活動、3学年は進路の取組等々、“実り”の時期です。式では、私自身の夏のテーマである戦争遺跡や地震等の自然災害を巡る経験から防災や「命のリレー」について、また2学期の展望と「自分はどう取り組むか」について話しました。
 - ・現在の中学生にとって、最も直近の東日本大震災であっても乳幼児の頃の出来事であり、実感のわからないことであることは否めません。しかし、地震のみならず越谷市でもさる6月には線状降水帯による水害に被災するなど、恐怖を煽るのではなく、身を守り被害を低減させる防災教育に取り組む必要は欠かすことができないと考えています。
 - ・同じ話を同じときに聞いていても、受け取り方や印象に残った内容は皆異なります。教育の面白さ、また、難しさを感じるところでもあります。
 - ・この取組には「正解」はありません。話の要点を捉え、聞いた話について自分の考えを含めて短い時間で書くことを求めるものです。

：越谷市立中央中学校 校長 石山 秀樹